

建設機械施工 3

Vol.70 No.3 March 2018 (通巻 817 号)

目 次

特 集

自然再生、自然景観、都市景観

卷頭言

4 シカと緑化

中島 敦司 和歌山大学システム工学部 教授

行政情報

5 自然再生の現状と今後の推進

下川 佑太 環境省 自然環境計画課 事業係長

特集・
技術報文

10 UR 都市機構の生物多様性ネットワーク構築への取り組み

杉山 薫美 (株)都市再生機構 技術・コスト管理部 技術調査課

15 八幡湿原自然再生事業 事業の意義と長い道のり

中越 信和 広島大学大学院国際協力研究科 特任教授

20 生態系保全のため夜間照明に LED 照明を全面採用

宮瀬 文裕 清水建設㈱ 土木技術本部 基盤技術部 主査

26 エコロジカル・ランドスケープ概論

地域環境の潜在の能力を生かして環境をデザインする

小川総一郎 公立大学法人長岡造形大学 建築・環境デザイン学科 准教授、エコラン研究所 代表

32 日立市の河原子海水浴場付近での侵食と今後の方策

宇多 高明 一般財団法人大木研究センター なぎさ総合研究所長

大木 康弘 (株)水圈科学コンサルタント

三波 俊郎 海岸研究室 (有)

42 養浜による海岸再生 石川海岸片山津工区

甚田 隆光 国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 海岸課 課長

星野 康弘 国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 海岸課 海岸係長

48 河川環境と水利使用との調和に向けた宮中取水ダム魚道等の構造改善

榎本 拓 東日本旅客鉄道(㈱) 信濃川発電所業務改善推進部 課長

土橋 幸彦 東日本旅客鉄道(㈱) 信濃川発電所業務改善推進部 主席

53 植生基盤材料を目指した牡蠣殻ポーラスコンクリートの開発

堀口 至 呉工業高等専門学校 環境都市工学分野 准教授

59 建設工事における代償ビオトープの創出

渡邊千佳子 大成建設㈱ 環境本部 サステナブルソリューション部 スマートコミュニティ推進室 課長代理

渡邊 篤 大成建設㈱ 環境本部 サステナブルソリューション部 生物多様性・アセスメント室 次長

64 川が川の形をつくる 自然の營力を活かした川づくりと自然再生

中村 彰吾 (株)日水コン 河川事業部東部河川部 副部長

渡辺 誠 (株)日水コン 河川事業部東部河川部 技術第一課 プロジェクトエンジニア

鷺見 崇 (株)日水コン 河川事業部大阪河川部 技術課 主任

70 踏まれても枯れにくい駐車場緑化技術の開発

佐久間 譲 (株)竹中工務店 技術研究所 エコエンジニアリング部門 緑化生態環境グループ 主任研究員

交流の広場

76 進化するデザインマンホールと周辺環境

大槻 弥生 (株)奥村組 土木技術部 技術2課

- 【すいそう】**
-
- 82 ありがとう「おんな城主直虎」大河ドラマ館、経済効果に感謝・感謝
村松 志男 「おんな城主 直虎」 大河ドラマ館 運営部 統括
-
- 84 ギネスブックへの夢
山 勝三 コマツ OB
-
- JCMA 報告**
- 85 平成 29 年度 一般社団法人日本建設機械施工協会研究開発助成対象研究開発決定のお知らせ
-
- 87 ゆきみらい 2018 in 富山 除雪機械展示・実演会 開催報告
-
- 部会報告**
- 95 ISO/TC 195 (建設用機械及び装置専門委員会)
米国・オースティン国際会議及びナッシュビル特設グループ
会議報告
標準部会
-
- 104 新工法紹介 機関誌編集委員会
-
- 106 新機種紹介 機関誌編集委員会
-
- 統計**
- 112 建設工事受注額・建設機械受注額の推移 機関誌編集委員会
-
- 113 行事一覧 (2018年1月)
-
- 122 編集後記 (小倉・中村)
-

◇表紙写真説明◇

自然再生事業が実施されている竜串湾のシコロサンゴ群集

写真提供：環境省 自然環境局

高知県土佐清水市南西部に位置する竜串湾は多くの海洋生物が生息しており、中でもシコロサンゴ群集はその規模の大きさから学術的にも高い価値を有している。しかし、人間活動、台風等の災害などにより、様々な撹乱を受けたことに加え、近年では、高知県西南豪雨災害やオニヒトデの大発生が、湾内の環境、とりわけサンゴ群集の衰退を引き起こした。そのような状況を受けて、サンゴ類を中心とした海中景観と生態系を取り戻すための取組を進めていくため竜串自然再生協議会が平成 18 年に設立された。平成 22 年に作成された竜串自然再生事業実施計画（環境省）に基づき、湾に流入した土砂の除去やオニヒトデなどのサンゴ食害生物の駆除等により自然再生全体構想に示された基本目標が達成された。今後はこれらの自然資源を地域の取組によって守りながら後世に引き継いでいくという目標に向かって取組が進められることになっている。

| | | | |
|-----------------------|---------------------|--------------------|----------------|
| 2018年(平成30年)3月号 PR 目次 | コマツ……………表紙4 | 【マ】 | 【ヤ】 |
| 【ア】 | マシングケアテック(株)……後付2・3 | 吉永機械(株)……………表紙2 | |
| 朝日音響(株)……………後付8 | SARAN(株)……………表紙2 | マルマテクニカ(株)……………後付6 | 【ワ】 |
| 【カ】 | 【タ】 | 三笠産業(株)……………後付7 | (株)ワキタ……………表紙3 |
| コベルコ建機(株)……………後付1 | 大和機工(株)……………後付5 | | |